

東二幼だより



どろんこ

認定こども園
東二番丁幼稚園
令和7年度 6月号

日差しが眩しく風が爽やかな季節になり、子どもたちは外で元気に遊んでいます。年少児は園生活に慣れて、自分の好きな場所を見つけて遊ぶようになり、園庭のあちらこちらで赤色と黄色の帽子を見かけるようになりました。年中児は虫探しや砂遊び、追いかっこなど興味のある遊びを友達と一緒に楽しんでいます。そして、年長児はみんなで相談したいいろいろな種類の野菜を畑に植え、毎日愛情込めて水やりをし、生長を楽しみにしながら観察しています。

梅雨前の初夏の太陽をいっぱい受け、身近な自然に親しみながら発見・不思議・感動の気持ちを大切に過ごせるように保育にあたっていきます。これからもっとどろんこ遊びを楽しむことでしょう。洗濯物のお土産がたくさんになるかと思いますが、楽しく遊んだ証ですのでご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【通年活動】



〇お茶会（毎月の誕生会後に年長児が体験）

〈ねらい〉織田有楽齋（織田信長の弟）を茶祖とする煎茶道の茶席を体験し、伝統文化に触れる。
〈講師〉織田流煎茶道 正教授 菊地南厚 先生



〇リトミック活動（月1回 全学年）

〈ねらい〉音楽を通して、コミュニケーション能力や表現力を高める。
〈講師〉同法人 仙台幼児保育専門学校 元非常勤講師 本宮かおり 先生



衣替え

〈衣替え開始〉6月2日（月）
〈移行期間〉6月2日（月）～6日（金）
※気候が不順ですので、寒暖の差や体調に気を付けながら、夏用制服と冬用制服の併用をお願いします。
※9日（月）からは、全園児夏用制服着用です。

歯科検診

〈日時〉6日（金）10：00～
歯科園医の岡部太一先生による検診です。後日診断結果をお渡ししますので、診察が必要な場合は早めに受診をお願いします。尚、当日欠席された場合は、後日「岡部歯科医院」で受診していただくこととなりますので欠席のないようお願いいたします。



ようちえん おめでとう ～146歳のお誕生日～

6月7日は幼稚園の開園記念日です。1879年（明治12年）6月に開園し、今年で146回目の誕生日を迎えます。6月の誕生会で園児と一緒に祝いを行います。にじ組さんがお祝いのメダルを作成し、プレゼントしてくれます。多くの方々のおかげで楽しい園生活が送れることに感謝し、これからも健康で優しい子どもになれるようにという願いを込めながらお祝いしたいと思います。
また、記念日前の6日（金）には、祝葉を持ち帰ります。ご家庭でも、幼稚園の誕生日をお祝いしながら祝葉をご賞味ください。

教育実習

同法人 仙台幼児保育専門学校より1名
〈期間〉2日（月）～27日（金）
〈クラス〉にじ組



避難訓練 - 11日（水）

園内にいる時に大きな地震が起きた際の避難方法を身につけます。
・ 緊急避難…机の下にもぐる
・ 第一次避難場所…園庭中央
日頃から地震を感じたら机の下にもぐり、揺れがおさまったら、先生の指示をよく聞き、帽子などで頭部を保護しながら避難できるようにします。



引き渡し訓練

大規模な大型地震が起きた場合を想定した、保護者全員参加の訓練です。緊急時における園児引き渡しの訓練となりますので、緊急連絡用引き渡しカードにご記入の方のお迎えをお願いします。

〈日時〉11日（水）13：40～14：00

〈内容〉宮城県沖を震源地とする震度5弱の地震が起こり、園児を安全に保護者の元へ引き渡すための訓練です。

12：30頃 ルクミーおたより送信

13：40 園児は園庭に整列し、迎えを待っています。（クラス旗が目印です）

※ 雨天の場合や気温によっては引き渡し場所が変更になる可能性もあります。ルクミーおたよりで引き渡し場所をご確認ください。

※ 幼稚園では緊張感をもって訓練を実施いたしますので、保護者の皆さんも私語を控えて、ご参加いただきますようご協力ください。

※ 引き渡し訓練後に、預かり保育を利用する方は、以前配付しました用紙を担任または預かり保育担任まで必ず提出して下さい。6月4日（水）締め切りです。



天文台見学

はと組 12日（木）9：15～14：00
にじ組 13日（金） //

※ 持ち物を普段使用の通園バックに入れてください。
※ 詳しい内容は、後日ルクミーおたよりで送信します。



保育参観懇談会・給食試食会

たんぼぼ組 24日（火）9：15～13：30
ちゅうりっぷ組 26日（木） //

※ 詳しい内容は、後日ルクミーおたよりで送信します。

園長のひとりごと ～異年齢交流からの学び～

先日、園長室でパソコン作業をしていると年長組の男子と女の子が「えんちょうせんせい～おにごっこしよう！」と外遊びのお誘いに来てくれました。「いいよ～」と一緒に園庭に行くと他の年長組の子どもたちも待っていてくれて、「じゃあ、えんちょうせんせいがオニね」と数名の子どもたちとおにごっこ（こおりおに）がはじまりました。おにごっこの最中「まぜて」と他のクラスの子もたちもまざったり、「プランコするね」と違う遊びをはじめの子もいたり、20～30分の間に人の入れ替わりがたくさんある中でおにごっこが続いていきました。

東二幼の大きな特色の一つが“日々の異年齢交流”です。クラスや学年の垣根を越えてごく自然なかたちで、生活や遊びの中で交流活動が行われています。年長組は朝登園すると自主的に年少組へ行って遊びながらお手伝いをしてくれます。給食準備のお手伝いはもちろん、そのまま年少組と一緒に給食を食べます。遊びの中でも職員が仲介しなくても「まぜて」「いいよ」の音が飛び交い、そこに東二小児童がまざることもあります。大きい学年の子は自分より小さい学年の子に優しく接し、お兄ちゃんお姉ちゃんに優しくしてもらったことは心地よかった体験として心に残ります。それは優しくお世話をした子どもの方にも言えます。そして自分が進級した時には自然な振る舞いで、年下の友達に対して優しくかかわることができます。

幼稚園という“小さな社会”の中で「大きくなったらこんなふうになりたいな」「いろんな友達がいて楽しいな」という将来の人間形成“生きる力”に繋がる素敵な異年齢交流が日々行われ、経験していると考えられるのではないのでしょうか。